

本年度から黒潮圏専攻・部門は新たなフェースに入りました。

1つは、4月から加藤さんと堀さんが着任され、また、市村さんが新たに黒潮圏部門に加われ、さらに諸岡先生が特任教授として引き続き黒潮圏研究を継続されたこと。それから、黒潮圏事務に吉村さんが来られましたが、すぐにマリイノベーションへ異動した小林さんのピンチヒッターになり、その吉村さんのピンチヒッターとして一時期笹岡さんに来てもらったことがありました。物部事務は片岡課長と嘉数補佐による新たな体制となりました。

2つ目は組織運営体制が実質的に専攻と部門とに分離し、教育組織と教員組織の2本立てになったことです。それに伴い、全学的な人事ポイントに絡んで学長から今後の黒潮圏の方向性を尋ねる問い合わせが来ました。色々な議論を経て、旧黒潮圏海洋科学研究科の人事ポイントは学部にもマージすることになったのは、ご存じの通りです。

今年忘れてならないのはシーカヤックです。5月に山岡先生による「シーカヤックを操り、黒潮に沿ってフィリピン-日本間3200キロを5年かけてたどる旅」への挑戦がはじまりました。その他にも色々な行事がありました。

10月には、内嶋善兵衛先生による温暖化セミナーを行いました。

11月3日文化の日には、物部キャンパス一日公開で柏島のトコロテンとてんぷらを売る！大盛況！

11月6日からは第4回黒潮圏科学国際シンポジウムが盛大に開かれる！富永さんが大活躍。二回目。前回第3回シンポジウムのプロシーディングスの印刷、諸岡先生のがんばりで間に合う！

12月、初の試み「OB・OGによるセミナー、学生との意見交換会」を開催！

一方、今年は多くの関係者が表彰されました。

伊谷行さんは、クリタ水・環境科学研究優秀賞、さらに日本甲殻類学会で学会賞を受賞されました。

神田優さんの環境省エコツーリズム大賞；

諸岡慶昇先生が日本農業経営学会から特別会員に推薦され、功労表彰；

大学院生田中幸記さんが東アジア生態学会連合国際学会でポスター賞受賞

・・・と表彰ラッシュ！

では、来年に向けて鋭気を養いましょう。